

第12回日本緩和医療学会総会

地域をつつむ緩和医療

【期日】 2007年6月22日(金)・23日(土)

【会場】 岡山コンベンションセンター・ホテルグランヴィア岡山

【会費】 10,000円(会員)・11,000円(非会員)・3,000円(学生)

特別講演

市民との協働による家で死ねるまちづくり

川越博美(在宅ホスピス協会会長・訪問看護パリアン スーパーバイザー)

エンド・オブ・ライフ・ケア — あるべき姿の実現を目指して

武田文和(埼玉医科大学包括地域医療部 客員教授)

日本の医療政策における終末期ケア

池上直己(慶応大学医学部医療政策・管理学教室 教授)

The role of palliative care in cancer survivors

Patricia A Ganz(カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校 教授)

医療制度改革の方向性

辻 哲夫(厚生労働省 事務次官)

延命治療の医療倫理 — 米国の場合

李 啓充

【問合せ先】

第12回日本緩和医療学会総会 事務局

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・腫瘍外科学

TEL:086-235-7257 FAX:086-221-8775

E-mail: jspm2007@md.okayama-u.ac.jp

<http://www2.convention.co.jp/12jspm/>



遠い日：河村純一郎

第12回日本緩和医療学会総会

地域をつつむ緩和医療

【期日】 2007年6月22日(金)・23日(土)

【会場】 岡山コンベンションセンター・ホテルグランヴィア岡山

【会費】 10,000円(会員)・11,000円(非会員)・3,000円(学生)

シンポジウム

- ・日本独自の緩和医療教育のカリキュラム開発
- ・緩和医療とスピリチュアル・ケア
- ・癌以外の疾患に対する緩和医療
- ・在宅医療と緩和医療
- ・緩和医療のベーシックサイエンス
—がん悪液質の免疫、栄養と疼痛—
- ・緩和医療を支える倫理と法

パネル・ディスカッション

- ・緩和医療チームの現状と課題
- ・燃え尽きないために
- ・小児の緩和医療 こどもと家族

【問合せ先】

第12回日本緩和医療学会総会 事務局

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・腫瘍外科学

TEL:086-235-7257 FAX:086-221-8775

E-mail : jspm2007@md.okayama-u.ac.jp

<http://www2.convention.co.jp/12jspm/>



遠い日：河村純一郎

第12回日本緩和医療学会総会 市民公開講座

地域をつつむ緩和ケアとボランティア

■ 第1部 特別講演

「ホスピス緩和ケア—どう理解しケアするか—
～ボランティアに期待される役割～」

演者：清水千世（坪井病院看護部副部長）

座長：槌田洋子（岡山済生会総合病院緩和ケア病棟看護師長）

■ 第2部 シンポジウム

「緩和ケア病棟から一般病院、
そして地域社会へ」

シンポジスト

山口龍彦（高知厚生病院副院長）

近藤和代（岡山済生会総合病院ボランティア）

松下洋子（家族）

斎藤信也（高知女子大学看護学部教授）

座長

北 徳（がんの悩み電話相談室おかやま）

横山幸生（かとう内科並木通り診療所MSW）



遠い日：河村純一郎

【期日】 2007年6月23日（土）

14:00～16:30

【会場】 ホテルグランヴィア岡山

【対象】 一般市民のみなさま

【問合せ先】

第12回日本緩和医療学会総会 事務局

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・腫瘍外科学

TEL:086-235-7257 FAX:086-221-8775

E-mail: jspm2007@md.okayama-u.ac.jp

お申し込みは不要ですので、入場を御希望の方は直接会場にお越し下さい。

入場無料

特別講演

特別講演 1		6月22日(金) 11:00-12:00 第1会場
座長：阿部 まゆみ (広島県緩和ケア支援センター)		
SL1	市民との協働による家で死ねるまちづくり.....	78
川越 博美 (在宅ホスピス協会会長・訪問看護パリアン スーパーバイザー)		
特別講演 2		6月22日(金) 11:00-12:00 第2会場
座長：恒藤 暁 (大阪大学大学院医学系研究科)		
SL2	エンド・オブ・ライフ・ケアあるべき姿の実現を目指して.....	78
武田 文和 (埼玉医科大学 包括地域医療部)		
特別講演 3		6月22日(金) 11:00-12:00 第6会場
座長：江口 研二 (東海大学呼吸器内科)		
SL3	日本の医療政策における終末期ケア.....	79
池上 直己 (慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授)		
特別講演 4		6月22日(金) 11:00-12:00 第9会場
座長：下妻 晃二郎 (立命館大学 理工学部 化学生物工学科)		
SL4	The Role of Palliative Medicine in the Care of Cancer Survivors.....	79
Patricia A. Ganz (Schools of Medicine and Public Health, and the Jonsson Comprehensive Cancer Center, University of California)		
特別講演 5		6月23日(土) 11:00-12:00 第1会場
座長：片山 壽 (片山医院一尾道市医師会)		
SL5	医療制度改革の方向性.....	000
辻 哲夫 (厚生労働省)		
特別講演 6		6月23日(土) 11:00-12:00 第9会場
座長：田中 紀章 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・腫瘍外科学)		
SL6	延命治療中止の医療倫理 米国の場合.....	80
李 啓充 (コラムニスト、元ハーバード大学医学部)		

シンポジウム

シンポジウム1 日本独自の緩和医療教育のカリキュラム開発 6月22日(金) 9:00-11:00 第2会場

座長：齋藤 信也（高知女子大学看護学部），中保 利通（東北大学病院緩和ケアセンター）

SY1-1	緩和医療の卒業教育.....	81
	木澤 義之（筑波大人間総合科学研究科）	
SY1-2	緩和医療医学部教育カリキュラムの開発と今後の展望.....	81
	佐藤 英俊（佐賀大学医学部附属病院）	
SY1-3	看護職への教育の課題と教育カリキュラムの開発.....	82
	田村 恵子（淀川キリスト教病院ホスピス）	
SY1-4	医学生に対する緩和ケア教育の試み—チュートリアルと他職種講義—.....	82
	高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）	
SY1-5	医学教育における緩和ケアの取組.....	83
	三浦 公嗣（文部科学省高等教育局医学教育課）	

シンポジウム2 緩和医療とスピリチュアル・ケア 6月22日(金) 13:20-15:20 第2会場

座長：齋藤 武（東京女子医科大学糖尿病センター）

SY2-1	緩和ケア熟練職によるスピリチュアルケア.....	84
	河 正子（東京大学大学院 成人看護学 / 緩和ケア看護学分野 客員研究員）	
SY2-2	縁としてのケア—スピリチュアルケア・アセスメント.....	84
	大下 大園（高野山大学客員教授）	
SY2-3	緩和医療とスピリチュアルケア.....	85
	村田 久行（京都ノートルダム女子大学）	

シンポジウム3 癌以外の疾患に対する緩和医療 6月22日(金) 9:00-11:00 第5会場

座長：齋藤 豊和（北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科）
的場 和子（立命館大学大学院 先端総合学術研究科）

SY3-1	「生」と「死」を繰り返しつつ生きる医療—透析：長期透析患者への緩和医療.....	86
	春木 繁一（松江青葉クリニック）	
SY3-2	慢性呼吸器疾患における終末期医療の現状と課題.....	86
	桂 秀樹（東京女子医科大学八千代医療センター呼吸器内科）	
SY3-3	終末期認知症に対する緩和医療—その必要性と課題.....	87
	辻 彼南雄（ライフケアシステム）	
SY3-4	神経疾患の緩和ケア—ALSを中心に—.....	87
	荻野 美恵子（北里大学医学部神経内科学）	

シンポジウム4 在宅医療と緩和医療 6月23日(土) 9:00-11:00 第1会場

座長：片山 壽（片山医院—尾道市医師会），加藤 恒夫（かとう内科並木通り診療所）

SY4-1	尾道方式 end-of-life care システムにおける緩和ケア.....	88
	片山 壽（片山医院—尾道市医師会）	
SY4-2	治療期から終末期にいたる地域連携在宅緩和ケア—緩和ケア岡山モデル—.....	88
	加藤 恒夫（かとう内科並木通り診療所）	

本
内

特
別
演
題

フ
ロ
ク
シ
ョ
ム
1
田
田

フ
ロ
ク
シ
ョ
ム
2
田
田

推
定
演
題
抄
読

一
般
演
題
抄
読

一
般
演
題
抄
読

SY4-3	地域に緩和ケアを広げる取り組み……………	89
	本家 好文 (広島県緩和ケア支援センター)	
SY4-4	在宅ホスピスケアを中心とする緩和医療の展開に向けて……………	89
	蘆野 吉和 (十和田市立中央病院)	
SY4-5	医療改革の方向と緩和医療……………	90
	宮島 俊彦 (厚生労働省大臣官房総括審議官)	

シンポジウム5 緩和医療のベーシックサイエンス-がん悪液質の免疫、栄養と疼痛-

6月23日(土) 9:00-11:00 第8会場

座長: 曾良 一郎 (東北大学大学院医学系研究科医科学専攻 神経・感覚器病態学講座 精神神経生物学分野)

SY5-1	癌悪液質の病態形成における神経・免疫系の関与……………	91
	岩垣 博巳 (岡山大学病院消化管外科)	
SY5-2	癌性悪液質の成因と治療-特に食欲調節ペプチドの立場から……………	91
	乾 明夫 (鹿児島大学大学院 社会・行動医学講座(心身医療科))	
SY5-3	オピオイド研究の最前線とペインクリニックへの応用……………	92
	成田 年 (星薬科大学 薬品毒性学教室)	
SY5-4	鍼の制吐作用……………	92
	高橋 徳 (デューク大学外科)	
SY5-5	A Novel Approach to the Treatment of Cancer Related Cachexia: Encouraging Clinical Results of VT-122 Therapeutic Regimen Targeting Inflammation and the Neuroendocrine System. ……………	93
	Newell F. Bascomb (Vicus Therapeutics, LLC)	

シンポジウム6 緩和医療を支える倫理と法

6月23日(土) 9:00-11:00 第9会場

座長: 栗屋 剛 (岡山大学大学院医歯学総合研究科 法医生命倫理学)
山脇 成人 (広島大学大学院精神神経科学)

SY6-1	在宅ホスピスにおけるバイオエシックスの課題……………	94
	二ノ坂 保喜 (いのさかクリニック)	
SY6-2	緩和医療をめぐる法的問題と対応……………	94
	田邊 昇 (中村・平井・田邊法律事務所 弁護士・医学博士)	
SY6-3	「よく生きる」ことと「よく死ぬ」こと——「尊厳死」研究と「いのちの教育」の狭間で……………	95
	大谷 いづみ (立命館大学産業社会学部)	
特別発言	李 啓充 (コラムニスト、元ハーバード大学医学部)	

パネル・ディスカッション

パネル・ディスカッション1 緩和医療チームの現状と課題 6月22日(金) 13:20-15:20 第1会場

座長：下山 直人（国立がんセンター中央病院 手術部 麻酔・緩和ケア科）
田村 里子（東札幌病院 医療相談室）

- PD1-1 STASを用いた苦痛のスクリーニングシステムについて：pilot study 96
清原 恵美（聖隷三方原病院 ホスピス）
- PD1-2 化学療法施行患者の患者自記式緩和ケアニーズスクリーニングシステム 96
佐々木 直子（聖隷三方原病院 薬剤部，聖隷三方原病院 緩和ケアチーム）
- PD1-3 栃木県立がんセンターにおける緩和ケアチームの現状と課題 ー看護士の立場からー 97
江連 久子（栃木県立がんセンター 緩和ケアチーム）
- PD1-4 一般病院におけるチーム医療の検討 ～疼痛マネジメントにおける看護師の役割と責任～ 97
片山 美子（名古屋記念病院，名古屋市立大学大学院 看護学研究科）
- PD1-5 緩和ケアチームとしての栄養部の取り組みについて 98
西谷 かおり（石川県立中央病院 栄養部）
- PD1-6 ADL目標のずれに対するチームアプローチ～歩行できるか否かをどのように修正するか 98
井澤 里香（順天堂大学 緩和ケアセンター，順天堂大学 麻酔・ペインクリニック講座）

パネル・ディスカッション2 燃え尽きないために 6月22日(金) 14:20-16:00 第3会場

座長：本家 好文（広島県緩和ケア支援センター），荒川 靖子（聖隷クリストファー大学看護学部）

- PD2-1 一般病棟で否認患者をケアする看護師のストレスと感情について 99
塩井 厚子（埼玉医科大学病院 看護部 臨床腫瘍科病棟）
- PD2-2 専従医師確保が出来ないまま急性期病院に開設された緩和ケア病棟の状況
ー当院緩和ケア病棟運用2年間の反省ー 99
平野 勇生（独立行政法人 国立病院機構 南和歌山医療センター 麻酔科）
- PD2-3 当院の緩和ケア病棟における看護師のストレス調査 100
皆本 美喜（社会保険神戸中央病院）
- PD2-4 看護師が感じている「死にゆく人への看護」について（第三報）～看護チームで行なえるサポート方路を行なっ
ての評価～ 100
露木 裕子（神奈川県立足柄上病院）

パネル・ディスカッション3 小児の緩和医療 こどもと家族 6月22日(金) 13:20-15:20 第7会場

座長：細谷 亮太（聖路加国際病院小児科），前田 浩利（千葉健愛会 あおぞら診療所新松戸）

- PD3-1 日本における小児緩和ケアの課題 101
多田羅 竜平（大阪府立母子保健総合医療センター在宅支援室・小児緩和ケア担当（前ロイヤルリパブール子
ども病院小児緩和ケアチーム客員研究員））
- PD3-2 小児の在宅緩和ケアー家族の中で最期の時を過ごすこどもたちー 101
前田 浩利（千葉健愛会 あおぞら診療所新松戸）
- PD3-3 小児がんの子どもを対象としたトータルケアから学ぶこと ーがんの子どものターミナルケア・トータルケ
ア研究会の活動報告ー 102
天野 功二（がんの子どものターミナルケア・トータルケア研究会，聖隷三方原病院 ホスピス科）
- PD3-4 小児在宅医療におけるターミナルケア ～子どもが最後の時を自宅で過ごすためには～ 102
佐々木 佐代子（医療法人財団 千葉健愛会 あおぞら診療所新松戸）

ワークショップ

ワークショップ 1 在宅医療と緩和医療 実践の立場から 6月22日(金) 9:00-11:00 第1会場

座長：岡部 健（医療法人社団爽秋会岡部医院）、中山 康子（在宅緩和ケア支援センター虹）

WS1-1	在宅緩和ケア専門診療所に求められる機能—開設後16ヶ月間の実績から— 藤本 肇（ふじもと在宅緩和ケアクリニック）	103
WS1-2	在宅医療へのソーシャルワーカーの関わり 齋藤 健治（市立吹田市民病院 医療相談室）	103
WS1-3	在宅ケアホスピス地域連携パスの試み 山田 祐司（医療法人 愛和会 愛和病院）	104
WS1-4	当院における在宅緩和医療 杉本 由佳（すぎもと在宅医療クリニック）	104
WS1-5	地域緩和ケアの拠点としての療養通所介護 市橋 正子（在宅緩和ケアセンターほすびす）	105
WS1-6	在宅から緩和ケア病棟へ入院を希望する理由、在宅支援（訪問診療、訪問看護等）の有無による違いについての調査 金石 圭祐（東京厚生年金病院 緩和ケア科）	105

ワークショップ 2 緩和医療と化学療法 6月22日(金) 9:00-11:00 第3会場

座長：兵頭 一之介（筑波大学大学院消化器内科）、小松 浩子（聖路加看護大学）

WS2-1	当院における緩和医療としての化学療法の現状と課題 岩田 尚士（医療法人 曙会シムラ病院 緩和ケア病棟）	106
WS2-2	市中病院における化学療法施行消化管癌患者の緩和治療への移行状況の検討 福永 陸（市立堺病院 外科、市立堺病院 緩和ケアチーム）	106
WS2-3	腫瘍内科外来での緩和医療と第1相試験の現状 荒木 和浩（埼玉医科大学 臨床腫瘍科）	107
WS2-4	死亡前1ヶ月以内に化学療法が施行された悪性腫瘍患者の臨床的特徴 上手 真梨子（北里大学 大学院 薬学研究科）	107
WS2-5	化学療法症例における緩和ケア科医師の介入状況 松本 篤（栃木県立がんセンター 化学療法科）	108
WS2-6	緩和医療としての切除不能進行胃癌に対する化学療法のあり方 - 外来化学療法を導入して - 保坂 尚志（群馬県立がんセンター 消化器内科）	108

ワークショップ 3 緩和ケア研究方法論 6月22日(金) 13:20-14:20 第3会場

座長：鈴木 志津枝（高知女子大学看護学部）

WS3-1	緩和ケア研究方法論 とくにそこにおける倫理的配慮について—M. ニューマン「健康の理論」に基づき、実践と研究とを結ぶ方法論— 遠藤 恵美子（宮崎県立看護大学）	109
WS3-2	研究における倫理的配慮：緩和ケア・ターミナルケアの場合 和泉 成子（オレゴン健康科学大学）	109
WS3-3	診療記録から抽出する緩和ケアの質の指標（Quality Indicator）の同定：デルファイ変法による検討 宮下 光令（東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 成人看護学 / 緩和ケア看護学分野）	110

ワークショップ4 骨転移と呼吸困難

6月22日(金) 13:20-15:20 第4会場

座長：田中 桂子（静岡がんセンター）、斎藤 龍生（独立行政法人）国立病院機構西群馬病院）

- WS4-1 がん患者の呼吸困難に対するフロセミド吸入療法の効果の検討…………… 111
小原 弘之（広島県立広島病院 緩和ケア科）
- WS4-2 呼吸困難に対するチームアプローチ…………… 111
一戸 由美子（河北総合病院 東京・杉並家庭医療学センター）
- WS4-3 四肢近位部病的骨折に対する手術療法の有用性…………… 112
澤村 明廣（シムラ病院 外科）
- WS4-4 MultiModality の時代における骨転移の放射線治療：チーム医療の一環としての効果的な放射線治療を目指して…………… 112
清水 わか子（国保君津中央病院 放射線治療科）
- WS4-5 開口障害の原因が高位頸椎の病的骨折であった進行胃がんの1例…………… 113
斎藤 理恵（社会保険中京病院 麻酔科）
- WS4-6 当院での肺癌骨転移に対するゾレドロン酸使用経験…………… 113
渡邊 紘章（小牧市民病院 呼吸器科）

ワークショップ5 緩和医療教育

6月22日(金) 13:20-15:20 第5会場

座長：木澤 義之（筑波大学大学院 人間総合科学研究科）、内布 敦子（兵庫県立大学看護学部）

- WS5-1 患者因子と主治医因子から推測した[非告知]について…………… 114
田中 俊行（前橋赤十字病院 がん支援チーム）
- WS5-2 緩和ケアの模擬授業 -第3回医学生への緩和ケア教育のための教員セミナー報告-…………… 114
斎藤 真理（横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科、大学病院の緩和ケアを考える会 教育委員会）
- WS5-3 EPEC-O その後：沖縄県における地域、教育研修病院での緩和ケア教育の展開。…………… 115
笹良 剛史（友愛会南部病院）
- WS5-4 医学生の死生観と Death Education の重要性…………… 115
川井 康嗣（山口大学 医学部 附属病院 麻酔科蘇生科・ペインクリニック）
- WS5-5 EPEC-O 日本語版の開発とその教育効果の検討…………… 116
木澤 義之（筑波大学大学院 人間総合科学研究科）
- WS5-6 米国疼痛緩和フェローション経験より考える、今後の日本の緩和医療教育のありかた…………… 116
関根 龍一（亀田総合病院 緩和ケア科）

ワークショップ6 セデーション

6月22日(金) 9:00-11:00 第7会場

座長：濱口 恵子（癌研究会有明病院）、森田 達也（聖隷三方原病院緩和と支持治療科）

- WS6-1 鎮静群、非鎮静群810症例の比較検討（私たちの病棟の鎮静について）…………… 117
吉村 孝夫（社会福祉法人 恩賜財団 水戸済会総合病院 緩和ケア診療科）
- WS6-2 一般病棟におけるセデーションの現状と問題点-病状理解とコミュニケーションの視点から-…………… 117
中島 信久（カレスアライアンス 天使病院 外科）
- WS6-3 症状緩和のための鎮静（Palliative Sedation Therapy）の効果と安全性、倫理的妥当性の検討：緩和ケア専門病棟における多施設前向き観察的研究…………… 118
池永 昌之（淀川キリスト教病院 ホスピス）

本
内

特
別
演
題

フ
ロ
ク
シ
ョ
ウ
プ
4
の
目
次

フ
ロ
ク
シ
ョ
ウ
プ
5
の
目
次

進
展
演
題
抄
録

一
般
演
題
抄
録

一
般
ホ
ス
ピ
ス
抄
録

- WS6-4 小児がん患児に対する Deep Sedation の問題点と今後の課題について…………… 118
辻 尚子 (国立がんセンター中央病院 小児科, 東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野)
- WS6-5 終末期における鎮静に対する家族の思いの一考察 ～本人の意思決定があった事例を通して～…………… 119
中山 智美 (市立砺波総合病院 西棟7階)

ワークショップ7 緩和医療におけるリハビリテーション 6月22日(金) 9:00-11:00 第9会場

座長：安部 能成 (千葉がんセンター整形外科 (機能回復訓練室))
岡村 仁 (広島大学大学院保健学研究科)

- WS7-1 進行期～終末期癌患者のリハビリテーション目標と目標実現因子について…………… 120
北原 エリ子 (順天堂大学大学院 医学研究科 リハビリテーション医学, 順天堂大学 医学部 附属順天堂
医院 リハビリテーション室)
- WS7-2 がん専門医療機関、特に緩和ケア病棟における理学療法の実施内容についての検討…………… 120
石井 健 (静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科)
- WS7-3 診断前からのリハビリテーション介入により退院に至った症例…………… 121
安部 能成 (千葉県がんセンター 整形外科)
- WS7-4 整形外科医にとっての緩和的リハビリテーション～その現状と課題～…………… 121
阿部 泰之 (旭川医科大学整形外科, 旭川医大病院緩和ケアチーム)
- WS7-5 リハビリテーション-看護師の立場から…………… 122
栗原 美穂 (国立がんセンター東病院)
- WS7-6 心理士の立場から見た緩和医療的リハビリテーションの現状と課題…………… 122
大庭 章 (静岡県立静岡がんセンター 精神腫瘍科)

ワークショップ8 消化器症状のコントロール 6月22日(金) 13:20-15:20 第9会場

座長：安達 勇 (静岡がんセンター緩和医療科), 末永 和之 (山口赤十字病院 緩和ケア科)

- WS8-1 ホスピス病棟入院患者の口腔内状況と歯科介入の必要性…………… 123
岩崎 静乃 (聖隷三方原病院 リハビリテーション部)
- WS8-2 癌終末期における消化管閉塞に伴う消化器症状のコントロール…………… 123
中島 信久 (カレスアライアンス 天使病院 外科)
- WS8-3 胃癌術後患者の緩和ケアにおける消化器症状のコントロール…………… 124
大河内 治 (公立陶生病院 外科)
- WS8-4 緩和医療における経皮経食道的胃瘻 (Percutaneous transesophageal gastrostomy: PTEG) の有用性について…………… 124
荒金 英樹 (愛生会山科病院 外科)
- WS8-5 末期癌患者の消化管閉塞に伴う消化器症状に対する Octreotide の効果…………… 125
母里 淑子 (津山中央病院 外科)
- WS8-6 がん終末期消化管閉塞に対する緩和手術前オクトレオチド投与の有用性…………… 125
戸倉 夏木 (大船中央病院 外科)

ワークショップ9 悲嘆のケア 6月23日(土) 13:20-15:20 第5会場

座長：坂口 幸弘 (関西福祉科学大学), 二見 典子 (ピースハウス病院)

- WS9-1 大切な家族を亡くすことも・家族への介入とフォローアップ ～静岡県立静岡がんセンターでのCL Sの取り組み～…………… 126
青木 睦恵 (静岡県立 静岡がんセンター研究所 看護技術開発研究部)

WS9-2	大切な人を亡くす子どもへのケアについて～看護師の視点から～	126
	廣岡 佳代 (元慶應義塾大学 看護医療学部)	
WS9-3	急性期病院の一般病棟における遺族ケア	127
	小松野 明美 (JA 広島総合病院)	
WS9-4	中央から離れた地域にある一般病院における悲嘆のケアに対する取り組み～ナラティブアプローチから家族会開催まで～	127
	野間 清子 (医療法人社団 中津胃腸病院 看護部 緩和ケアチーム)	
WS9-5	急性期病院における「遺族会」を開催して～遺族の悲しみを理解し、共有する試み～	128
	福田 富滋余 (医療法人白十字会 佐世保中央病院 緩和ケアチーム)	
WS9-6	看護師の家族ニーズに対する支援調査～終末期がん患者の家族に焦点をあてて～	128
	三瀬 由香 (独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター 緩和ケア科)	

ワークショップ 10 代替医療/栄養

6月23日(土) 13:20-15:20 第8会場

座長：今西 二郎 (京都府立大学大学院感染免疫病態制御学)

WS10-1	肺癌患者の長期生存は患者の免疫能および精神状態・性格と関連があるのか？	129
	木下 明敏 (独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター 呼吸器科)	
WS10-2	頭頸部がん患者に対する栄養的サポート	129
	川口 美喜子 (島根大学 医学部 附属病院 臨床栄養部)	
WS10-3	消化器癌末期患者に対する緩和ケア NST の臨床的意義	130
	豊田 暢彦 (労働者健康福祉機構 山陰労災病院 外科)	
WS10-4	終末期がん患者の倦怠感に対するアロマセラピーを使用した足浴の効果	130
	宮内 貴子 (独立行政法人国立病院機構山陽病院)	
WS10-5	緩和ケア領域における治療的代替医療のあり方について考える	131
	黒丸 尊治 (彦根市立病院 緩和ケア科)	
WS10-6	代替療法としての非特異的免疫賦活剤の保険適応外投与における効果の検証	131
	有賀 悦子 (国立国際医療センター 緩和ケア科)	

テーマ：緩和ケアボランティア

シンポジウム

座長：北 徳（がんの悩み電話相談室おかやま）

横山 幸生（かとう内科並木通り診療所）

演者：山口 龍彦（高知厚生病院）

近藤 和代（（ボランティア代表）岡山済生会総合病院）

松下 洋子（患者家族代表）

齋藤 信也（高知女子大学看護学部）

特別講演

座長：槌田 洋子（岡山済生会総合病院）

「ホスピス緩和ケア—どう理解しケアするか— ～ボランティアに期待される役割—

清水 千世（坪井病院）